

2019年11月12日

13名のモンゴル人研修員に対して、広島市で実地研修を実施します

モンゴルで呼吸器疾患の診断能力向上を目指す

独立行政法人国際協力機構（JICA）は広島県およびNPO法人総合遠隔医療支援機構とともに、草の根技術協力事業「塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト」を実施しています。その一環として、モンゴル国の病理診断科医師、技師13名を広島市に招聘し、下記のとおり研修を実施します。5日間の研修では、講義のほか細胞診断実習などを行い病理診断科医師、技師の診断能力向上を目指します。是非取材をご検討ください。

【事業背景】

鉱業はモンゴルの主要産業ですが、鉱山で働く労働者への配慮は十分でなく、様々な塵肺を吸入することで起こる塵肺症の発症率は高いと予想されますが、統計上の発症率は低く診断が適切に行われていないケースがあると見受けられます。さらに寒冷地であるモンゴルでは、断熱効果の高い石綿（アスベスト）が今も使用されており、アスベスト曝露により引き起こされる代表的な悪性腫瘍である中皮腫の発症もあるはずですが、診断能力が十分ではありません。そこで、塵肺症とアスベスト曝露による呼吸器疾患の診断能力に係る知識の向上及び診断能力の向上を目的として、本プロジェクトが開始されました。

【研修日時・場所】

日付	時間	プログラム	場所
11月19日	9時～9時半 10時半～11時 11時半～15時半 15時～16時	開校式 副知事表敬訪問 アスベスト関連疾患講義（昼休憩1時間含） モンゴルのコンサルテーション例の検討	（株）病理診断センター 県庁 （株）病理診断センター
11月20日	9時半～12時半 13時半～15時 15時～16時	アスベスト関連疾患講義 肺腫瘍実習 モンゴルのコンサルテーション例の検討	広島大学病理学教室
11月21日	9時半～12時半 13時半～16時半	細胞診断実習 細胞診標本染色研修	広島大学病理学教室
11月22日	9時半～12時半 13時半～16時	ゲノム医療研修（講義） ゲノム医療研修（実習）	県立広島病院
11月23日	9時半～16時半	バーチャルスライド研修（昼休憩1時間含）	（株）病理診断センター

【研修・現地取材についてのお問い合わせ先】

NPO 法人総合遠隔医療支援機構（代表：井内康輝、担当：田中美樹） TEL：082-221-1222

【事業に関する問い合わせ先】

 JICA 中国 市民参加協力課 担当：山本
 TEL：082-421-6305 FAX：082-420-8082
 E-mail：Yamamoto.Chikara@jica.go.jp

 地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国
 JICA 中国ウェブサイト
